

学校についてのアンケート集計方法

- 【 A 】は、「はい、とても そう思う」 3
- 【 B 】は、「ときどき そう思う」 2
- 【 C 】は、「あまり そう思わない」 1
- 【 D 】は、「いいえ そう思わない」 0

満足度 = A+Bの全体に占める割合

満足度の計算方法
がわかりました。ご
了承ください。

学校についてのアンケート集計結果

平成27年度

6月

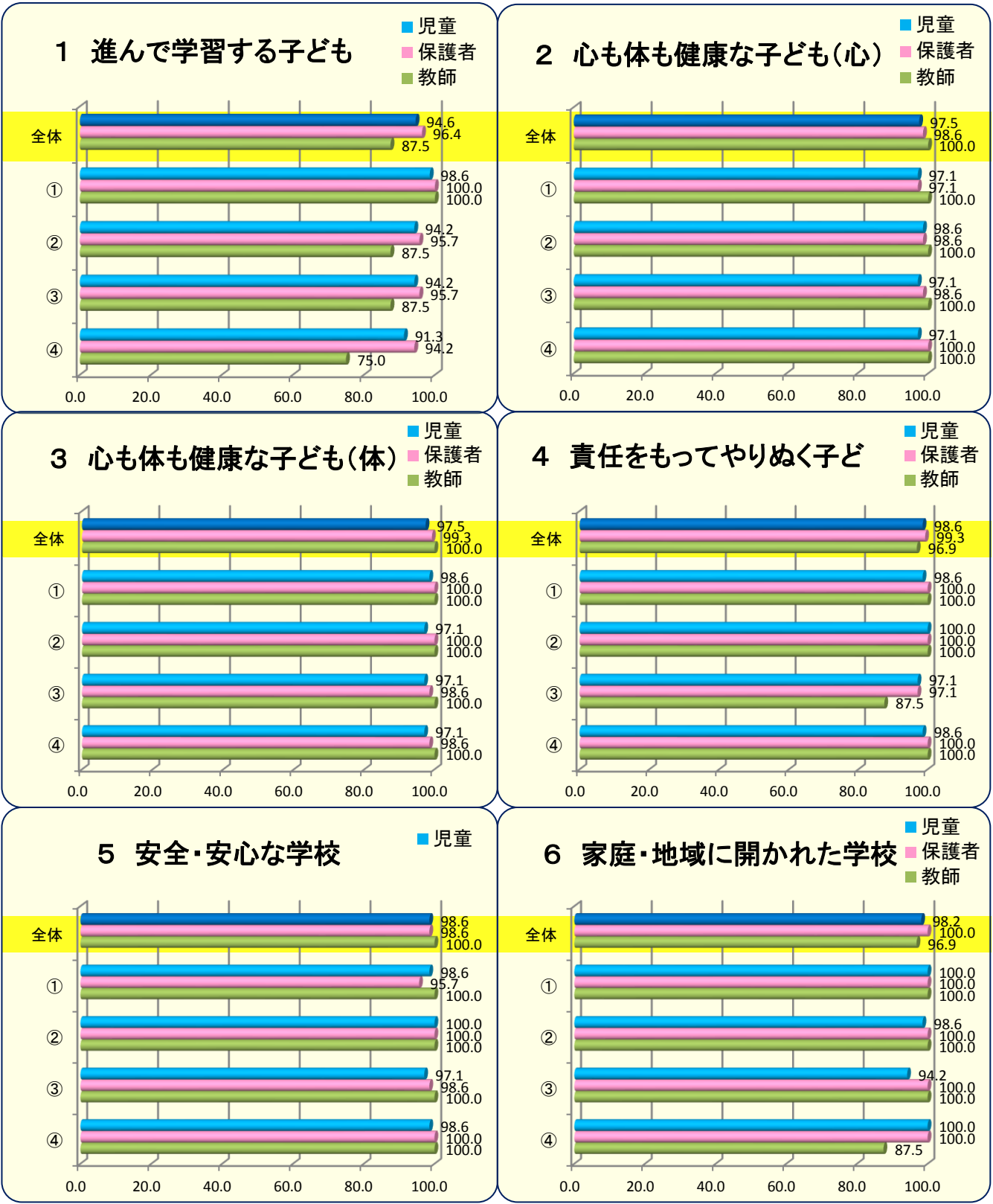
児童 69 名

保護者 69 名

教師 8 名

考 察 と 対 応

番号	項 目
1	進んで学習する子ども
	① 勉強や運動が楽しく、進んで学習に取り組み、学習内容がよくわかっている。
	② 先生や友だちの話を聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりして高め合っている。
	③ 毎日の家庭学習を進んで行い、自分なりにくふうして取り組んでいる。
	④ 読書が好きで、進んで本を読んでいる。
2	心も体も健康な子ども(心)
	① 先生や友だちは自分をわかってくれて、毎日元気に仲よく学校生活が送れている。
	② 学校では、あいさつや言葉づかい、ルールやマナーなど大切なことを学んでいる。
	③ 学校では、正しい行動や相手を思いやることの大切さを学んでいる。
	④ 学校では、命の大切さを勉強し、自分やまわりのみんなのを大切にすることを学んでいる。
3	心も体も健康な子ども(体)
	① 生活の時間を守ったり、ハンカチ・ティッシュを身につけたり、身の回りの整理整頓をすることができている。
	② 栄養のバランスを考え、好ききらいなく食べたり、朝ご飯をしっかり食べたりしている。
	③ 体を動かすことが好きで、毎日運動に取り組んでいる。
	④ 体育や休み時間・放課後、めあてをもって運動している。
4	責任をもってやりぬく子ども
	① 委員会活動や係活動など、集団活動の中で自分の責任がわかっている。
	② 自分の仕事・役割を最後まで果たせるように努力している。
	③ 言われたことだけでなく、自分で考え進んで行動できるようにしている。
	④ 清掃活動、ボランティア活動などに一生けん命取り組んでいる。
5	安全・安心な学校
	① 学校では、みんなが安心して学校にすることができるよう、いじめなどをゆるさない指導をしている。
	② 学校では、事故やけががないように、校舎や通学路の安全に気をつけたり、声をかけをしたりしている。
	③ 火事や地震などの災害や放射能などから身を守る方法がわかっている。
	④ 学校は、不審者(ふしんしゃ)から守ってくれている。不審者から身を守る方法がわかっている。
6	家庭・地域に開かれた学校
	① おたより、れんらく、メールなどで、学校生活の様子を家庭に伝えてと思う。
	② 授業参観や行事などに、家の人はよく来てくれている。
	③ 学校では、家の人や地域の人に協力してもらって勉強や農園活動などを進めている。
	④ 地域を歩いたり、研修バス等で見学をしたりしながら、地域からたくさんのことを学んでいる。



<進んで学習する子ども>

- 全体的に児童・保護者の評価に対して、教師の評価が下回る。期待度・欲求が高いためと考える。
- 読書については、児童・保護者もやや低い傾向を示している。教師も一番低い。読書活動の推進を図りたい。
- ◎ 言語活動の充実のため、音声言語表現力の向上を目指した活動を重視していきたい。(朗読、群読 等)

<心も体も健康な子ども(心)>

- 全体的に高い評価となっている。
- 教師に対して、児童・保護者がやや下回る。
- 児童・保護者は、①元気な学校生活②(あいさつ・言葉遣い、ルール・マナー)③(正しい行動・思いやり)について下回る。
- ◎ 代表委員会のオアシス運動を活性化し、児童自ら改善を図る場を設定するとともに、教師も保護者も率先して挨拶等に取り組んでいきたい。
- ◎ 友達関係は、学校生活に大きな影響をあたえる。高学年になるにつれて難しい問題を発生しやすくなるが、全職員による組織的な対応で子ども一人一人の思いを大切にしたい指導を徹底したい。

<心も体も健康な子ども(体)>

- 全体的に評価の低い児童が見られる。
- ◎ スポーツテストの結果を見ると、本校の児童生徒の運動能力・体力には課題が見られるため、授業の充実・業間マラソン等体力作りに継続し取り組んでいきたい。

<責任をもってやりぬく>

- 教師の評価がやや下回っている。
- 特に、教師の③(進んで行動するが低い。)
- ◎ ②(責任と役割の自覚)④(ボランティア精神)については、保護者・教師ともに高い評価を得ている。
- ◎ 学校行事「ボランティア活動(花植え)」及び小中一貫教育「ボランティア活動(地域清掃)」を実施。上学年は朝のボランティア活動にも取り組んでいる

<安全・安心な学校>

- 教師の評価に対して、児童・保護者がやや下回る。
- ◎ 通学路の安全確保は、今後も継続して市に訴えていく。
- ◎ 交通事故・不審者対策として、毎日の下校指導を行っていく。
- ◎ 東日本震災・原発事故以降、災害への不安は大きい。学校は、情報発信を密にして保護者の不安への配慮を行っていく。

<家庭・地域に開かれた学校>

- 教師の評価が特に低いのは、④(地域の活用)である。
- ◎ 学習ボランティア(農園・習字・読み聞かせ・図書室等)のご協力が広まっている。
- ◎ 地域での学習活動を充実していけるように、教材研究・人材活用を図りたい。